

週間市場レポート (2020年4月27日~5月1日)

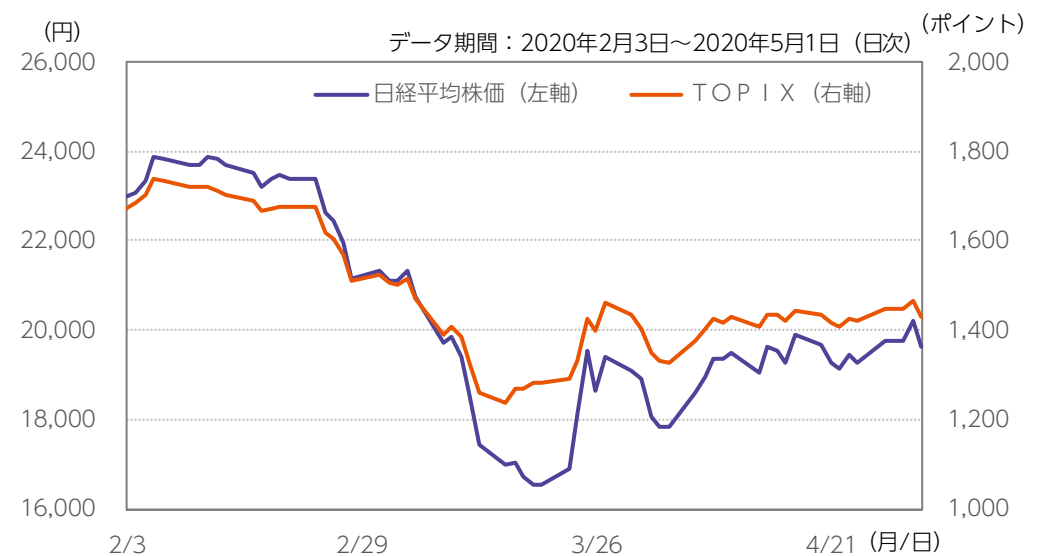
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/4/24	先週末 2020/5/1	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		19,262.00	19,619.35	1.86 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,421.29	1,431.26	0.70 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		23,775.27	23,723.69	▲0.22 ↘
S&P500種指数		2,836.74	2,830.71	▲0.21 ↘
ユーロ・ストックス50指数		2,809.07	2,927.93	4.23 ↗
S&P/ASX300指数		5,203.26	5,211.80	0.16 ↗
上海総合指数		2,808.53	2,860.08	1.84 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		732.17	755.98	3.25 ↗
東証REIT指数		1,551.04	1,564.67	0.88 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		613.89	619.63	0.94 ↗
ASX300 REIT 指数		1,076.50	1,088.90	1.15 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		144.06	148.08	2.79 ↗
日本10年国債 (%)		▲0.02	▲0.02	▲0.00 ↘
米国10年国債 (%)		0.60	0.61	0.01 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.47	▲0.59	▲0.11 ↘
英国10年国債 (%)		0.29	0.25	▲0.04 ↘
ドル/円		107.51	106.91	▲0.56 ↘
ユーロ/円		116.40	117.33	0.80 ↗
英ポンド/円		132.98	133.73	0.56 ↗
豪ドル/円		68.71	68.62	▲0.13 ↘
フィラデルフィア半導体指数		1,702.56	1,644.40	▲3.42 ↘
WTI原油先物 (ドル)		16.94	19.78	16.77 ↗
CRB 指数		112.75	117.63	4.32 ↗
アレリアンMLP指数		657.71	694.99	5.67 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。週初は、日銀の追加金融緩和策の決定などを背景に買いが優勢となり、大幅上昇となりました。その後も、新型コロナウイルスの治療薬の開発期待感から大きく上昇し、およそ2ヵ月ぶりに2万円台を回復しました。週末は、米経済指標の悪化を受け下落となったものの、週間では上昇となりました。

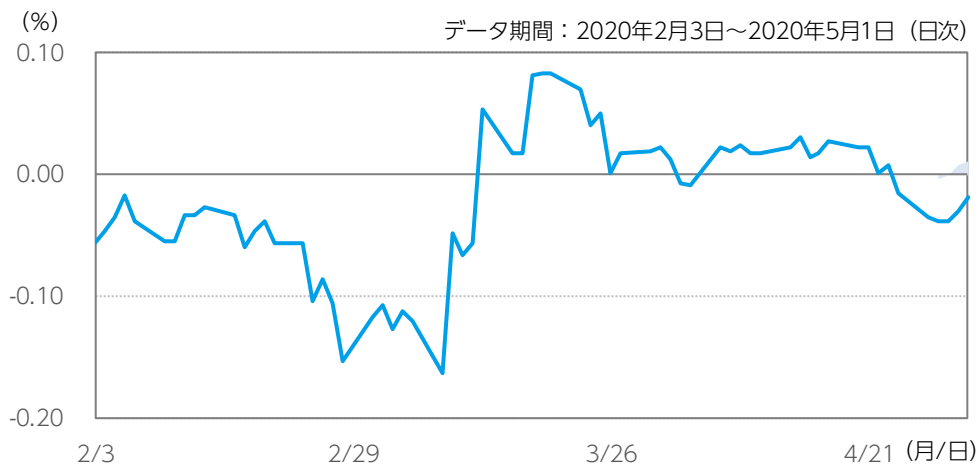


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 労働節で5月1日は休暇のため、上海総合指数は4月30日のデータ。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。日銀の国債買い入れ積極化の方針を受け、週前半は買いが優勢となりました（利回りは低下）。週末は、前日の米国債券が下落した流れを受け、売りが優勢となり（利回りは上昇）、週間では前週末比でほぼ横ばいとなりました。

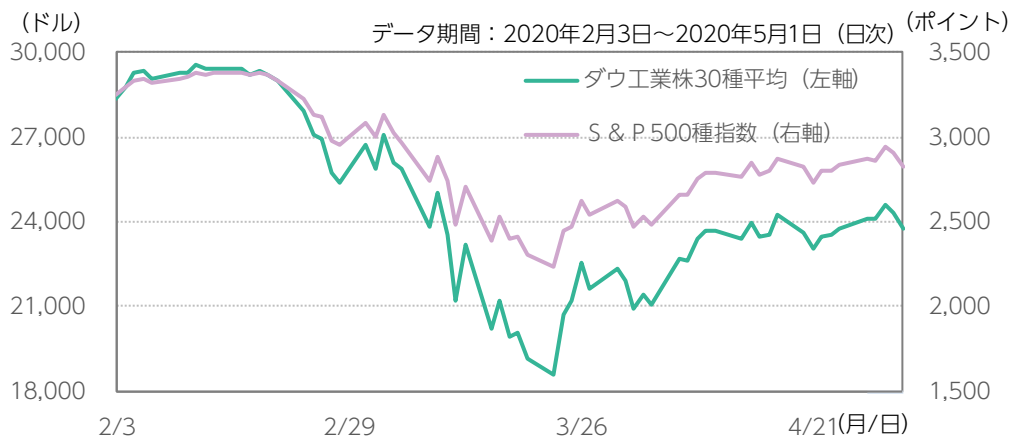


3) 米国の株式市場

※5/4～5/6の海外市場については、5/11に記載します。

≪ 株式 ≫

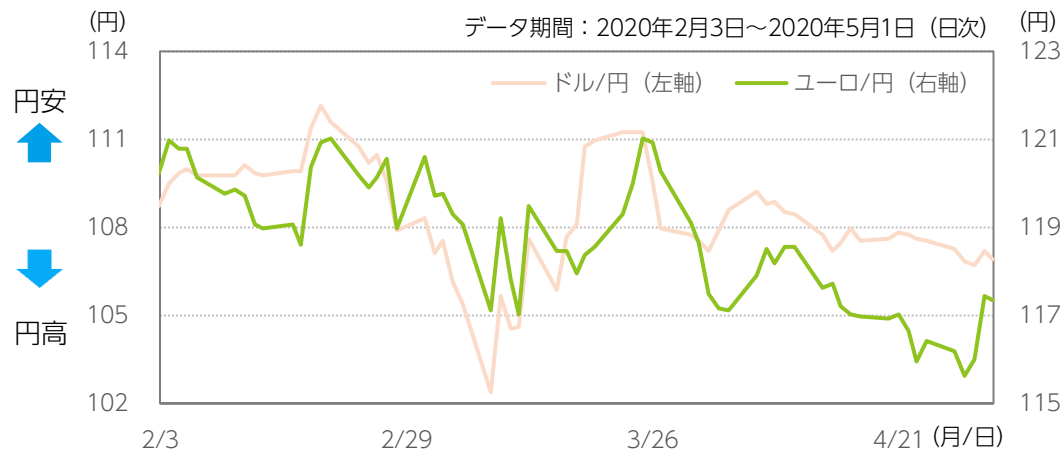
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で横ばいとなりました。週前半は、外出規制の緩和や治療薬開発の報道などから、経済活動再開への期待感から上昇となったものの、週末は、低調な経済指標から新型コロナウイルスの経済への悪影響が改めて認識され下落しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。新型コロナウイルスをめぐる米中対立懸念を受けたリスク回避目的の円買い米ドル売りが優勢となり、円高米ドル安となりました。対ユーロは、欧州中央銀行が量的金融緩和の現状維持を決定したことから円売りユーロ買いが進みました。



5) 今週の見通しについて

欧米を中心に新型コロナウイルスの新規感染者数の増勢が和らぎつつあり、経済活動の早期再開への期待感の高まりなどを背景に、先週の株式市場は、国内株式市場は前週末比で上昇、米国株式市場は週前半は経済活動再開への期待感から上昇するも、週末に公表された低調な経済指標を受け週末に下落したことから、前週末比でほぼ横ばいとなりました。

5月4日に、全都道府県を対象に5月31日まで緊急事態宣言が延長されました。安倍首相は、期間満了を待たずに緊急事態を解除する可能性を示す一方、長期戦を覚悟する必要があると述べており、引き続き国内における感染者数の動向が注目されます。また、製薬会社の抗ウイルス薬の開発状況にも注目が集まりそうです。

今週の株式市場は、引き続き国内および世界における新型コロナウイルス感染者数の動向や、経済活動の早期再開に向けた各国の対応や政策の効果、治療薬の開発状況などを見極めながら、一進一退の展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>